

土浦市の保幼小連携の進め方

保育園(所)・幼稚園では、小学校へ移行する時期(接続期)に、つながりのある保育・教育を行い、小学校入学への不安や戸惑いを減らすとともに、安心して小学校生活を送り、子どもたち自身が十分に力を発揮できるようにしていくことが大切です。また、小学校においては、保育園(所)・幼稚園での保育・教育のあり方を十分理解した上で、教育課程の編成を進めることが重要であると考えます。

そこで、土浦市では、就学前保育・教育から小学校教育へのスムーズな移行を図るため、特に、「生活する力」、「学ぶ力」、「かかわる力」の3つの力を中心に保幼小連携を推進して行きたいと考えています。

《 幼児期に育ってほしい子どもの3つの力(能力) 》

<p>【生活する力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を保ち、自分のことを行えるように生活習慣を身に付ける。 <p>(茨城県の幼児期に育ってほしい子どもの姿(7項目)との関係) 「①・②・③・⑦」</p> <p>(国の幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿との関係) 「①・②・④」</p>	<p>【学ぶ力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かに遊び、物事への関心を持ち、考えや思いを伝える。 <p>(茨城県の幼児期に育ってほしい子どもの姿(7項目)との関係) 「①・⑥・⑦」</p> <p>(国の幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿との関係) 「⑥・⑧・⑨・⑩」</p>	<p>【かかわる力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を大切にし、他者を思いやるとともに、約束やルールを守る。 <p>(茨城県の幼児期に育ってほしい子どもの姿(7項目)との関係) 「④・⑤」</p> <p>(国の幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿との関係) 「③・④・⑤・⑦」</p>
---	--	---

(茨城県の幼児期に育ってほしい子どもの姿「7項目」)

- ① 健康な心と体で豊かに遊ぶ子ども
- ② 自分のことを自分で行おうとする子ども
- ③ 早寝早起き朝ごはんなどの生活習慣を身に付け、あいさつのできる子ども
- ④ 自然と触れ合い、命を大切にする子ども
- ⑤ 自分や家族を大切にしながら他者を思いやるとともに、約束やルールを守ろうとする子ども
- ⑥ 生活や遊びを通じた物事(物の性質や数量、図形、文字標識等)への関心・感覚をもつ子ども
- ⑦ 豊かな感性とそれを表現できる言葉などをもち、自分の考えや思いを様々な方法で伝えようとする子ども

(国の幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿)

- ① 健康な心と体
- ② 自立心
- ③ 協同性
- ④ 道徳性・規範意識の芽生え
- ⑤ 社会生活との関わり
- ⑥ 思考力の芽生え
- ⑦ 自然との関わり・生命尊重
- ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨ 言葉による伝え合い
- ⑩ 豊かな感性と表現

《 保幼小連携の進め方とステップ表 》

保幼小連携4ステップ

1	はじめの一步	《互いの行事・保育授業参観への参加・互いの研修会等への参加》
2	交流段階	《保幼小接続コーディネーター・園内リーダーを中心に》
3	互恵性を求めた連携段階	《土浦市接続カリキュラム試行》
4	接続カリキュラムの実施段階	《土浦市保幼小接続カリキュラムの実施・振り返り》

〈 保幼小連携ステップ表 〉

第1ステップ (目標時期) 令和元年度末	<p>《はじめの一步》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連携の啓発、近隣施設・小学校の確認、研修会への参加 ・近隣の施設・小学校についての把握や経営方針を理解し、卒所・卒園者数、小学校への入学者数等の情報を共有し、職員の顔合わせをする。 ・小学校区ごとに保育・授業参観や研修会等を実施する。
第2ステップ (目標時期) 令和2年度末	<p>《交流段階》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連携の推進、連携体制の確立、保育・授業参観・交流行事の年間計画への位置づけ ・保幼小互いの年間計画の中に、幼児、児童の保育・授業参観、行事への招待等を位置づけ、子ども同士・教師間の交流活動を行う。 ・園内リーダー、小学校コーディネーターを中心に各施設、各校毎に接続(アプローチ、スタート)カリキュラムを作成・実施する。 ・「土浦市保幼小接続カリキュラム作成ワーキングチーム」を設置する。
第3ステップ (目標時期) 令和3年度末	<p>《互恵性を求めた連携段階・接続カリキュラム試行段階》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連携の充実、互恵性のある連携活動の実施 ・幼児・児童の双方にメリットがあり互恵性のある連携活動を進めて行くために、教師間での事前打ち合わせ・振り返り等を行う。 ・土浦市保幼小接続カリキュラムを試行する。
第4ステップ (目標時期) 令和4年度 以降	<p>《接続カリキュラム実施段階》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保幼小連携の発展(評価・改善含む)、接続カリキュラムの実施見直し ・第3ステップまでの保幼小連携を見直し、課題の確認、土浦市保幼小接続カリキュラムの本格実施、見直し、再実施を行う。